

## 令和6年度事業報告

全国各地に於いて激甚化している自然災害が多発しており「地域の守り手」として災害が発生すると最前線で応急復旧作業に昼夜を分かたず迅速に対応するなど、安全・安心な地域づくりを担う極めて重要な役割を果たしてきた。

その一方、私たちを取り巻く環境は、労務費、資材価格等の高騰により厳しさを増し、また、少子高齢化により若者の入職が減少し、担い手の確保が一段と大きな課題となっている。

このような状況の中、地域建設業は地域の社会資本の整備や維持管理のみならず、社会貢献活動や地域経済と雇用の下支えをする地域の基幹産業として「地方創生」のための重要な役割も担っており、引き続き公共事業予算の安定的・持続的な確保及び発注等要望活動を行った。

将来に亘って建設業が地域の安全・安心を守る社会的使命を果たしていくためには次世代の担い手を確保していくことが不可欠である。若者に選ばれる建設業にするために新3K「給料が良く」「休日が取れる」「希望が持てる」に「かっこいい」を加えた新4Kの実現を目指して生産性の向上による長時間労働の是正や「週休2日制(4週8休)運動」の普及を継続して推し進めた。

「建設ってどんな仕事なの」・「建設業の社会貢献活動についてどんなことをしているの」を子どもたちに幅広く知ってもらうため、建設業の活動を紹介した自由帳を作成して中部地区1市4町の新小学1年生児童へ寄贈し、各家庭への積極的な魅力発信活動を行った。

また、当協会青年部と高校生・人材育成センターとの舗装体験実習、測量技術研修会、子供から大人まで楽しめる園児への建設機械乗車体験や小学生対象の現場見学会を行政と一緒に開催、女性部による子供たちへのけんせつ絵本の読み聞かせ等をとっとり建設女星ネットワークとも連携を図り開催した。

また、建設業が地域の安全・安心の重要な役割を果たす上で、「災害時の応援体制等」の協定を関係機関と締結し、加えて環境保全活動、美化運動等、様々な社会活動を行った。

研修関係は、入札参加資格者格付要綱の指定研修である「人権問題研修会」「安全管理研修会」「暴力追放研修会」を開催し、受講者の加点申請を行う等知識と技術の向上に努めた。さらに人材育成センターのオーダーメイド型在職者訓練として「レベルを学ぶ」・「TSを学ぶ」・「GNSS測量講習」を行った。

総務・経営、土木、建築各委員会では、要望事項を取りまとめ、県協会の委員会で積極的な協議を行い、国・県との意見交換に反映させた。

更に、会員の安全対策として関係機関の協力のもと、全会員による安全祈願祭及び災害防止委員会による建設現場安全パトロールなど労働災害防止に努めた。

今後も、一般社団法人鳥取県中部建設業協会は、地域を支える基幹産業として地元住民から信頼される業界団体を目指して邁進して行きたい。